



中村さん  
は昨年、県  
立中央病院  
前に「そよ  
かぜ循環器内科・糖尿病  
内科」を開業した。

同院は「働きざかりの  
人」の生活習慣改善のため  
の助言や心血管の病気の  
予防を主眼とする。診  
察時間が夜8時半までと  
遅いのも、ビジネ  
スマンが仕事帰りに  
受診できるよう  
にとの配慮だ。

「『厄年』はあな  
がち俗信とばかり  
は言えません。統  
計的に男性は、40  
歳代前半で心血管

疾患発症の一つのピーク  
を迎えます」。

県立中央病院で循環器  
内科部長や救命救急セン  
ター副センター長を務め  
た中村さんは、毎日元氣  
に働いていた人がある日  
突然心血管の病気で倒れ、  
帰らぬ人となるケースを  
何度も目の当たりにした  
という。「ご本人が気の

毒なのは勿論、残された  
奥さんや、まだ小学校・  
中学校に通う年頃のお子  
さんたちのことを思うと、  
胸が痛みます」。

開業に際しては、そう  
した悲しい思いをする人  
を少しでも減らすため、  
予防に軸足を置いた病院  
にしようかと心に決めた。  
心血管疾患は生活習慣

そよかぜ循環器内科・糖尿病内科

院長 中村 陽一さん



に基づく現代病で、  
死亡率は悪性腫瘍  
に続く第2位。遺  
伝因子や加齢現象  
など本人ではどう  
することもできな  
い面もあるが、生  
活習慣や環境を整  
えることが発症の

予防に繋がるといふ。

生活習慣で改めるべき  
点を一つ挙げるとすれば  
「喫煙」。たばこを吸った  
ときの血管は「内側から  
針で突つかれているよう  
なもの。悲鳴を上げて  
います」といふ。国立循  
環器病センター勤務時代、  
病気に侵された臓器や組  
織を数えきれないほど見  
てきた中村さんをして、  
「恐ろしい状態」だそうだ。  
生活習慣病についても  
っと知ってほしいとの思  
いから、毎月無料で「健  
康道場」を開催している。  
趣味は演劇と写真。昭  
和38年3月20日生まれ、  
砥部町出身。49歳。